足立 健康友

しをコで の防口猛 態 季 宣 7 節 3|気に高まっ宣言」 が発令て4月7日に 過ご 中で ナ <, 威 を ウィ た 迎 を · 様め、 L え 振 て々 ル るな 来な私ス し、新 う「の スコミ 紙 友面度知意のを、」喚 のを 喚 報 会使こが起 いのあ 0 道 動に生めます ゃ まお 行

ら、春

爛 世

外要府 出請 の لح ナ のる ま が 自し 京 ウは 危 7 感 で て、 都 イ今 険染無 (1 は 触特え必性 を症ル回ま を 打 行 ま要が拡状スの す 不 政 ち要側出不か 多すなあ 大の感 \Box 処るす ま染口

「型コロナウイルスの集団発生防止にご協力をおねがいします

2名数が集まる

※3つの条件のほか、共同で使う物品には 消事などを行ってください。

ま

らよう。

場集「合場密

場

所

ت

2 合場 メ は 所

と居

へとの

様 離

何の ま)ま. 度 0 か 密 注 外 たが 耳 意しましょ 出 状態 対に 以 下 避 て が 馴染み の3点 け あ り た ίĺ ま ات . 3 つ で す रें इं

が上、

まる、

友

どのは会

がそろ

は

控

える・

う

お

マ

お

有

(1

7

話

ょ ス

う。 クを

換気の悪い 密閉空間

電話3605-5594 http://kabara-tomon okai.kenwa.or.jp/ mail:kabarashibu@ya hoo. co. jp

第141号

2020年4月17日

止の年せら行染「能し会4て支わ拡集性以

(おり) は、(まり) は、(

ਤੂੰ ਰ て で、 的

0

そ面

当

自

め粛か言

る所不

へ特

の定

多

数

の

が

な 行

終息

友

 \mathcal{O}

슾 宣 事

な

ムい換 ン「気 Δ

うたに. 閉部空屋 閉空 お互い注意し合いま は、 間 空間」に当たると思っ」 自分の居る場所が空間)に居る。 「密を記した。 空 気を励行 する れた 密

をとらせてい

ながばら

委総嘱会

する

) バランスのとれた食事、ように注意しましょう。

支 行

はっ

処 中 友 毎

つ

T

いの

たた

いようになめていまうに

運友に

家族

し

交れ気

な流たをま

て訪

も問か

な

تل

は

動達

じょう。 になら、 限られ

不

定

せか

が 集勢 まの

大勢がいる

密集場所

、開けるだれるの距がこの様にこの様 デ 詰めの に居る。 得 な をな

て

す。 す。 緊張

の

染症

対

のの政

ては

Т

新聞

などの

さはま注たのて

L

た。 緊

そ

意をこ

ら

か て

復

習

スも

密密

ち感いは染る

暮

感い

拡新界漫

ら大型中の

ドアノブや電車のつり革など様々なものに触れることによ り、自分の手にもウイルスが付着している可能性があります。

外出先からの帰宅時や調理の前後、食事前などこまめに手 を洗います。

正しい手の洗い方

1

ベント

す離居

がのる。

会

むは密

避接

け場

る

止 話

場

れのに







間近で会話する

密接場面

てが③

「ガ 真









流水でよく手をぬらした後、石けんを つけ、手のひらをよくこすります。





指の間を洗います。

親指と手のひらをねじり洗いします。

手首も忘れずに洗います。

かばら支部総会の扱い

新型コロナウィルスがいつ終息するか不透明 のため、大勢が集まる総会は特別な扱いで取 19年度の報告と決算、新年度方針 と予算を役員会に委嘱し次回総会に報告する ことに三役会議(4月8日)できめました。

\mathcal{O} 注 事

る出 場前 合に他は体の 他 取温 人 لح Ŋ を 測り微会会が場 め 合、 す 熱 るが

なあ

う。 適 報 体 度 な 告 運 動、 理 12 注 睡眠を充

ま

ょ

分

か ばら支部役員

う さばが感の可 た上 ょ 自 で行 身 の 動 体 j 調 るよ を 良 <

がけ こ ま ましょう。 め 咳 な エ 手 チ 洗 ケ (1 ッ の ١ うに 実 を 守 観 施 り L を ま 心

何物にも支配されず生きている気持ちがばら デイサー ビスセンター 閉鎖 利用者様の素敵な姿に支えられ 鎖

スセンターだ されてからは、「自分で生保険改定で自立支援が強調取り組んできました。介護 ビス内容を変えていきまし きる」「自立」について何 し続けることを本気で考ええられ、地域で在宅で生活 りました。 ちまして閉鎖することにな 年 蒲原協議会の方々に支した。友の会の方を始 11 か 月運営をして -が、6/30をない。 30をも おり とは、 ない。 いくつになっても、どんな 性を絶対にみつけると職員そこからは、諦めず可能 そこからは、諦めず可能者に影響されてしまう)」 提供する側は思っていなく 生きている気持ち(介護を た。その中で一番印象に残っ が一丸になっていきました。 ても、介護される側は介護 ている大先輩のアドバイス。 「自立支援とは、単に自分 今職員一同感じているこ 事を自分ですることでは 介護職は無力である。 何物にも支配されず

られます。 と言っていいほど見せつけ同志で支えあった時に必ず た時よりも、 かった事を起こします。そは毎日のように想像もしな の長い人生で培ってきた力 疾病があってもご利用者様 てその力は職員

かばらデ 姿が とは、ご利用者様 ティングで話し合われるこいます。職員の帰りのミー は堂々と胸 かばらデイのご利用 8 なり を張 って生きて の素敵な 者様

かなまち所長

ました。 る」ということを学ばせて くださいました。 、護の基本「自分で生き そして私たち職員 員 が 支えら ħ T 1

元気で、

か

ばらデイサー

次のステップでも必ず生か大事にできる教訓を得られ、てもここの職員たちは一生 当に長い間ありがとうござしていこうと思います。本 いました。 かばらデイが閉鎖とな つ

かばらデイサービス センター所長

たいと思い

、ます。

5代目所長

木谷

私ですが、かばらデイで1ととが全くわからなかった月でした。デイサービスの 謝しかないです。 から教えて頂いたことは感 てきたのが、 私がかばらデイに異 2 0 0 9 年 5 動

ご利用者さま が関わっ ありがとうございました。 くなってしまうことです 4代目所長 デイサー ビスセンター

腺外 事 結

 \exists

傍 聴

ですが、かばらデイサービーといろいろ楽しいことばかり、いろいろ楽しいことばかり、なるに残念がある。本当に残念のがある。 スセンターで経験したこと クレーションを行いまし ら福祉の仕事を続けていきをこれからも思い出しなが 作ったり、ゲームをしたり、ね。ビーズアクセサリーを ご利用者の皆さんは 現葛飾やすらぎの郷 事を続けていき ビスセンター 看護師 あり 美保 がと た 件ではなく症例と主張した。 した5つの基準を無視したも を酩酊者の事例で証言したが 検察側の証 口頭で追加陳述があった。 弁護側の高野主任弁護士から 側から文書提出の証言があり、 と報告があった。 があったが裁判所が却下した 検察から原告女性の でひらかれました。 部屋で間隔をあけ ナウィルス感染予防 これはせん妄の国際的に確立 のと批判しました。これは 3 月 24 H 人はせん妄の特徴 3 口 検察• 38 公判 証言 人の で百人の が

弁護

要

スク・アルコールジェル等

なのに、明日から1日マスして新しいのを付けるべきは1回外したマスクは破棄料も底が見えてきて、本来 ク1枚でやりくりしないと 料も底が見えてきて、 メールをもらいました。 ている娘がおり、この 「病院の感染対策の医 ルコールジェルは看護 けないことになりました。 私には都内で看護師を 療材 様 な

タオルペーパー とになりました。その分、 材料を確保することの方が 医療・介護現場にこそ医療 ています。そんなことより、 布マスク二枚を配ると言っ ます」安倍総理が全世帯に 病院にないのは本当に困り すべきだと思うのだけど、 スクはすべき人が優先して までと制限されました。マ 手を流水で洗うんだけど、 自由に出し入れ出来なる は 1 ·回2枚